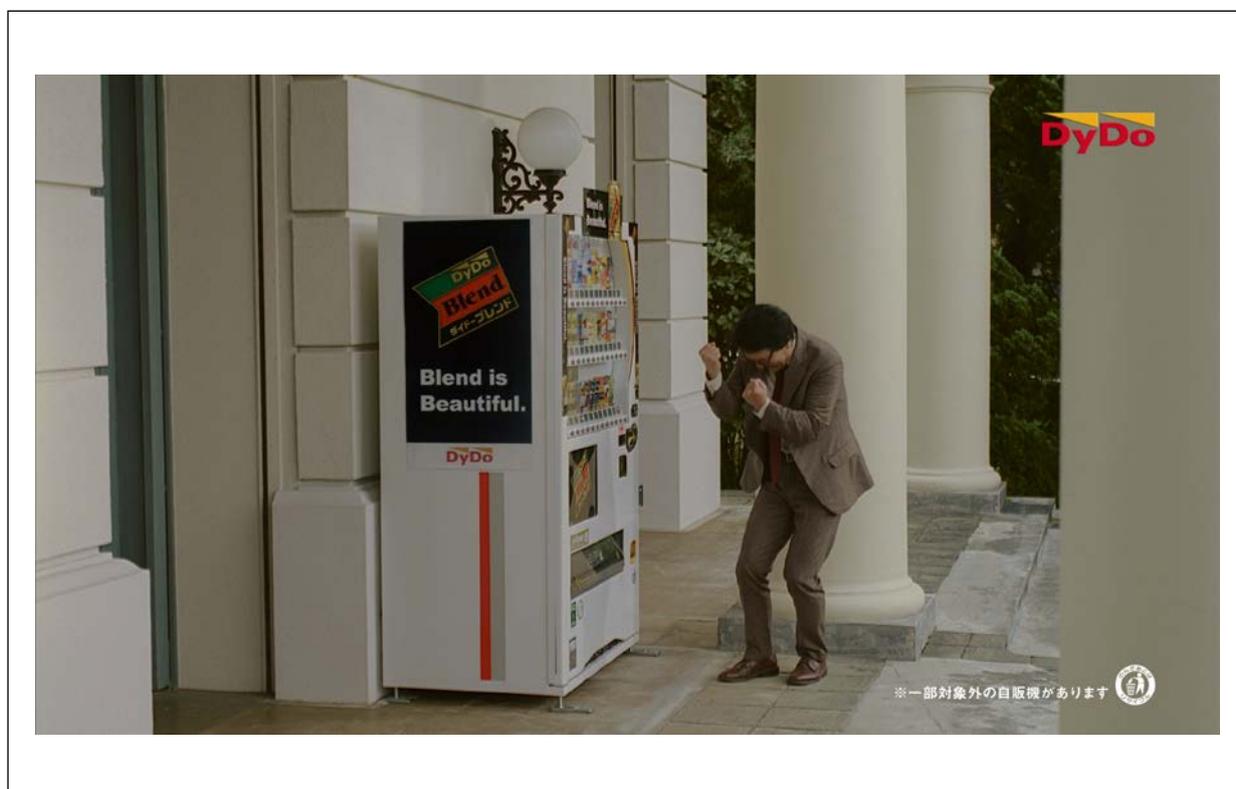


報道関係各位

2012年10月5日

おなじみの“大同教授”こと
役所広司さんのユーモア溢れる演技が楽しめる
「ダイドーブレンド」の新 TV-CM「自販機と教授」篇
～10月7日(日)より全国※で放映開始！！～
(※一部地域によりCMのバージョンが異なります)

■ WEBにて先行配信中 blend.dydo.co.jp ■



ダイドードリンコ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：高松富博）では、「ダイドーブレンド ブレンド微糖」をはじめとする新生「ダイドーブレンド」を9月3日(月)より発売、多くのお客様からご好評をいただいております。

発売に合わせて、俳優、役所広司さんを起用した TV-CM「世界が混ざり合う」篇、「甘さは残さない」篇を現在オンエアしていますが、これらに加えて新 CM「自販機と教授」篇（15秒）を10月7日（日）より放映し、これから本格的な需要期を迎える「ダイドーブレンド」とダイドードリンコ自動販売機を、広く訴求いたします。

■TV-CM について

大同教授がいつものルーレット付きダイドー自販機で缶コーヒーを購入します。何気ない日常の一場面。ルーレットで当たりが出るかどうかは教授にとって小さな幸せのひとつでした。研究熱心な教授が自販機とどう向き合うのか？CMでは教授のオフの姿を表現します。別バージョンのCMでは、ダイドー自販機の豊富なラインアップに大同教授が何をかうか真剣に悩みます。役所広司さんのダイドー自販機と向き合う熱演に是非ご期待ください。

■CM 制作レポート

東京都内から車で約2時間。河口湖の湖畔で撮影は行われました。早朝より自販機をクレーン車で搬入。実際に購入できるよう一からセッティングを行いました。そしていよいよ、自販機を前にした役所さん。どんなシチュエーションでも存在感たっぷり、動きにも感情が溢れています。ルーレットを見つめ、当たりかハズレか期待を膨らませる役所さんの表情は、スタッフもいっしょにそのドキドキ感に引き込まれてしまうほどでした。

■ダイドードリンクの自動販売機について

ダイドードリンクは、「ダイドーブレンド」をはじめとする商品を様々な販売ルートでお客様に提供していますが、その中でも自販機は重要な位置を占めており、現在約28万台（業界3位）の自販機ネットワークを持っています。

またダイドー自販機にはルーレット機能※が搭載されており、1本購入するごとにルーレットが回り、当たりが出たら、30秒以内に販売ランプが点灯している商品の中から、好きな商品をもう1本無料で選んでいただけます。

これからの季節、24時間稼働する自販機は、いつでも温かい商品を手にしていただけることから、大きな売上を期待できます。

今回の新CM「自販機と教授」篇で、多くのお客様がダイドードリンクの自動販売機で「ダイドーブレンド」を手にとっていただければと考えております。

※一部対象外の自販機があります。

■役所広司さんプロフィール

1956年1月1日生まれ。長崎県諫早市出身。

96年、『Shall we ダンス?』『眠る男』『シヤブ極道』で国内の14の映画賞で主演男優賞を独占。

また、東京国際映画祭 主演男優賞を受賞した『CURE』(97)、カンヌ国際映画祭 パルムドールを受賞した『うなぎ』(97)、同映画祭 国際批評家連盟賞・エキュメニカル賞を受賞した『ユリイカ』(01)、シカゴ国際映画祭 主演男優賞を受賞した『赤い橋の下のぬるい水』(01)など、国際映画祭への出品作品でも、数々の賞を受賞している。

05年には『SAYURI』、続く06年にはカンヌ国際映画祭 監督賞、エキュメニカル賞、ゴールデングローブ賞 作品賞、米アカデミー賞 作品賞にノミネートされた『BABEL』に出演し、国際的にも高い評価を受ける。

08年3月のドービル・アジア映画祭(フランス)において、これまでの映画出演とアジア映画への貢献に対して‘TRIBUTE’(賛辞式)を受け、また同年4月には国際映画祭 フィルム・マドリッド(スペイン)において、『象の背中』の演技で最優秀俳優賞を受賞。

12年には、日本アカデミー賞優秀主演男優賞を受賞し(『最後の忠臣蔵』)、自身の最多受賞記録を更新した。また、沖田修一監督作品『キツツキと雨』(東京国際映画祭 審査員特別賞受賞、ドバイ国際映画祭 最優秀男優賞受賞)、原田真人監督作品『わが母の記』(モントリオール世界映画祭 審査員特別グランプリ受賞)にそれぞれ主演。同6月、紫綬褒章を受章。また、7月にはニューヨークのジャパン・ソサエティにて開催された日本映画祭「ジャパン・カツ (JAPAN CUTS)」にて主演作品の特集上映が行われ、これまでの映画出演の功績をたたえる CUT ABOVE 賞を受賞。10月には、周防正行監督の最新作『終の信託』が公開予定。日本を代表する俳優として活躍している。

〔自販機と教授〕篇 ① 15sec.

1.



【役所さん NA】

「拝啓自販機様

ずっと立ち続けでご苦労様です。

2.



いつにも増して、感謝です。

という事で...」

3.



【役所さん】

「お願いします！」

4.



5.



【テロップ】

このシールが目印

6.



7.



【役所さん NA】

「ダイドー自販機 当たりつき！」

【注釈】

※一部対象外の自販機があります。

〔自販機と教授〕篇 ② 15sec.

1.



【役所さん NA】
「どれにしようかなー」

2.



【役所さん NA】
「どれにしようかなー」

3.



【役所さん NA】
「ダイドー自販機
ラインナップ揃えて営業中！」

■CM 概要

タイトル : 「ダイドーブренд ブренд微糖」 新 TV-CM 「自販機と教授」篇 (15 秒)
撮影時期 : 2012 年 9 月
撮影場所 : 山梨県河口湖湖畔
放映開始日 : 2012 年 10 月 7 日 (日)
放送地域 : 全国

■制作スタッフ

広告会社 : 株式会社博報堂
C C O : 宮崎 晋
C D : 安谷 滋元
A D : 大野 耕平
C : 塩見 勝義
制作 : 株式会社 A O I P r o .
P r : 熊倉 基裕 (A O I P r o .)
P r : 大古場 栄一 (A O I P r o .)
P M : 内海 輝幸 (A O I P r o .)
D i r : 芳賀 薫 (THE DIRECTORS GUILD)
C a : 石坂 拓郎
L i : 平野 勝利
A r t : 坂原 文子
S t y : 安野 ともこ
H M : 山崎 聡
M : 緑川 徹 (メロディーパンチ)
E D : 湯山 圭 (イマジカ)
M A : 倉田 昌治
N A : 役所 広司
出演 : 役所 広司

新「ダイドーブレンド」ブランド 商品概要

- 商品名 ダイドーブレンド ブレンドコーヒー
- 容量・希望小売価格 185g 缶・120 円（税込み）
- 商品特長 華やかな香り、軽快な余韻



1975 年の発売以来、“変わらないおいしさ”で、缶コーヒーのパイオニア的存在としてロングセラーを続けています。中南米を中心に厳選した 5 カ国のコーヒー豆を、浅煎り中心に焙煎。豆本来のおいしさと香りを引き出し、独自のブレンドで配合・抽出した後、ミルクと甘さをバランスよく加えています。

“ブレンドの妙”とも言える、華やかな香りと豊かなコク、軽快な余韻が特徴です。

- 商品名 ダイドーブレンド ブレンド微糖
- 容量・希望小売価格 185g 缶・120 円（税込み）
- 商品特長 20 種焙煎豆の深いコクと後キレ



厳選した 5 カ国のコーヒー豆を、約 1.5 倍^{※1}量使用するとともに、それぞれ 4 段階に焙煎したこだわりの 20 種焙煎豆をブレンドし使用しました。香料に頼らず、20 種類の焙煎豆の織り成す奥深いコクとスッキリとした後キレで、味にこだわる“微糖”ユーザーにも納得していただける商品としました。

※1 コーヒー飲料等の表示に関する公正競争規約の定めるコーヒー規格最低基準値（5g/100g）と比較

■商品名

ダイドーブレンド ブレンド砂糖ゼロ

■容量・希望小売価格

185g 缶・120 円（税込み）

■商品特長

ゼロなのに、味わいしっかり



世界有数のコーヒー産地から厳選した 5 カ国のコーヒー豆を、浅煎りから深煎りまで幅広く焼き分け、ダイドードリンコのブレンド技術で素材の特長を余すところなく引き出しました。砂糖ゼロによる希薄感を、コーヒーとミルクのコクでカバーしました。ゼロの健康感に加え、しっかりとした飲み応えを実現し、満足感のある味わいに仕上げました。

■商品名

ダイドーブレンド ブレンドラテ

■容量・希望小売価格

185g 缶・120 円（税込み）

■商品特長

極まるミルクの美味しさ



牛乳と相性のよい“モカ”を中心とした 5 カ国のコーヒー豆をブレンドしています。牛乳を 20%使用し、おいしさが際立つよう無菌充填製法^{※2}を採用しています。若年層やライトユーザーをターゲットに、ミルクのおいしさが極まる、まろやかな味わいのカフェラテに仕上げました。

※2 通常のレトルト殺菌とは異なり、中味を短時間で殺菌し、無菌環境下で容器に充填

*** 本報道資料に関するお問い合わせ先 ***

ダイドードリンコ株式会社 マーケティング部 コミュニケーショングループ 担当:小林/松田

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー18F

TEL:06-6222-2603 FAX:06-6222-2606

*** 本商品に関する一般の方からのお問い合わせ先 ***

ダイドードリンコお客様相談室 フリーダイヤル：0120-559-552